



77

第77期
報告書

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日

ニッテル
NITTELE DA BEAR

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当期の日本経済は、引き続き厳しい状況で推移し、テレビ広告費も減少傾向にあります。

こうした環境下、当社グループは「2009経営方針」の下、収益体質の強化に全力で取り組んでまいりました。

その成果として、放送事業では、ノンプライム帯視聴率で2年連続1位、全日・ゴールデン・プライムの3部門でいずれも2位となり、在京民放テレビ局で唯一、全時間帯の視聴率で前年度を上回ることができました。また、放送外事業では、映画、イベント、通信販売等の事業が順調に売上げを伸ばしました。さらに、番組制作費をはじめとするあらゆる費用について、徹底したコストコントロールに努めた結果、当期における連結純利益は前年同期比109億7千3百万円(195.2%)増益の165億9千5百万円となりました。

当社グループは、この度策定した「2010経営方針」に基づき、今後も、コストコントロールの強化による収益体質の改善をさらに進めながら、地上放送事業において視聴率トップの座を奪還することにグ

ループの全力を注ぐ所存です。

期末配当につきましては、目標配当性向を50%(年額180円下限)とする当期の配当政策より算出した290円から、すでに実施済みの中間配当90円を差し引いた200円とさせていただきました。

今後共一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年6月



日本テレビ放送網株式会社

代表取締役会長 氏家 齊一郎(写真左)

代表取締役社長執行役員 細川知正(写真中)



CONTENTS 目次

株主の皆様へ	01
日テレ TOPICS	02
2010経営方針	07
事業報告	09
営業の概況	13
連結財務諸表	14
単体財務諸表	16
会社情報	17
地デジ化情報	18

【表紙について】夏はダベアとリラックス



♪ダベアってのがボクの名さ。
夜は月明かりでバラードを歌うのさ。
だけど昼は忙しい特命宣伝部員。
あなたの心がホッとする、
あなたの心をホットさせる、
汐留の夏に響くボクの歌声。
皆さん、
夏の汐留お越しくださいね。
DA BEAR the Balladeer



初期は俳優の山口崇さんが司会を担当。左は当時のスタジオカメラ

視聴者の皆様、ひとりひとりが主人公です

昭和45年に放送を開始した「NNNドキュメント」が40年を迎え、この間に送り出した作品は2,000本超、日本テレビと系列29社が制作に参加し、社会の中で起きる様々な出来事に目を向けてきました。



昭和50年OA
「君は明日を掴めるか～貴くんの4745日～」



平成19年OA
「ネットカフェ難民」シリーズ

日テレ TOPICS★1 

NNNドキュメント40年

昭和50年放送の「君は明日を掴めるか～貴くんの4745日～」は日本のテレビ番組として初めて「国際エミー賞ノンフィクション部門」を受賞。最近では日本テレビ制作「ネットカフェ難民」シリーズが平成19年度文化庁芸術祭優秀賞を受賞するなど数々の栄誉を獲得しました。平成22年1月より40年記念企画を放送中。

「NNNドキュメント'10」 毎週日曜日 深夜00:50～01:20 放送



「アイシテル～海容～」より 平成21年4月15日～6月17日、毎週水曜日 22:00～ 放送



日テレ TOPICS★2

共感と感動を呼んだ 話題のドラマ

過酷な産婦人科の現状と3人の女性医師の活躍を描いた「ギネ 産婦人科の女たち」、ボロボロになりながらも、切なく痛快に生きる主人公像が共感を呼んだ「曲げられない女」も大評判でした。

世界が評価したドラマ「アイシテル～海容～」
殺人を犯した家族のあり方を描いた「アイシテル」は、「東京ドラマアウード2009グランプリ」をはじめ、フランスのカンヌのTV番組コンテンツ見本市「MIPCOM」でも「バイヤー・アワードBuyer Award」を受賞しました。



「ギネ 産婦人科の女たち」
10月14日～12月9日、毎週水曜日 22:00～ 放送



「曲げられない女」
1月13日～3月17日、毎週水曜日 22:00～ 放送



全国のお父さんが涙した!!番組テーマ曲「ヒーロー」を作ったFUNKY MONKEY BABYSと羽鳥慎一アナ

朝の看板番組はいつでもチャレンジ!

人気アーティストとのコラボCD・DVDの製作、番組企画「書道ガールズ甲子園」の映画化、番組キャラクターの絵本出版、全国イベントの開催など、ズームイン発の新たな試みが注目されています。



「全国うまいもの博」
全国12会場での総来場者数は94万人



「ズーミンの絵本」第4弾は今夏発売予定

日テレ TOPICS★3 

ズームイン!!SUPER 多角的に展開

ニュース、生活、エンターテインメントなどの最新情報日々発信。「ニッポンを元気にするぞ!」をテーマに様々な企画を立ち上げ、好評を博しています。

「ズームイン!!SUPER」 毎週月～金曜日 5:20～8:00 放送

20世紀少年<最終章>ぼくらの旗



©1999,2006浦沢直樹 スタジオナツ/小学館
©2009 映画「20世紀少年」製作委員会

ごくせん THE MOVIE



©2009「ごくせん THE MOVIE」製作委員会

サマーウォーズ



©2009 SUMMERWARS FILM PARTNERS

細田守監督の「サマーウォーズ」は、日本アカデミー賞の最優秀アニメーション作品賞に輝く他、国内外で非常に高い評価を受けるなど、次世代クリエーターの開発にも成功しました。



日テレ TOPICS★4

日テレ MOVIE 大好評!

映画事業は放送外収入アップと増益に大貢献!
日本中を熱狂させた世紀のビッグプロジェクトの完結編「20世紀少年<最終章>ぼくらの旗」は興行収入44億1千万円(平成21年邦画興行収入ランキング第3位)、日本テレビの超人気ドラマシリーズを映画化した「ごくせん THE MOVIE」は同34億8千万円(同第7位)の大ヒットを記録しました。



ルーヴル展を鑑賞される皇后陛下 写真提供：読売新聞社

ルーヴル展が世界4位－美術展入場者数ランクイン－

英国のアート雑誌「The Art Newspaper」が、昨年度世界各地の美術館で開かれた特別展の1日当たり入場者数を調べた結果、日本テレビの「ルーヴル美術館展」(国立西洋美術館)が第4位に入ったと、4月1日ロイター通信電子版が全世界に伝えました。また、総入場者数は85万

4,233人で、国立西洋美術館の特別展としては歴代2位となり、ルーヴル美術館の真髓を多くの皆様に堪能していただきました。



[ポンペイ展] 彩色を施した大理石のウェヌス像(右)
写真提供：読売新聞社

今春開催の横浜美術館「ポンペイ展」は、期間中の総入場者数が21万人を超えました。同展は現在、名古屋で開催中、その後新潟、仙台へと巡回します。

日テレ TOPICS★5



イベントも大成功!
大盛況!



日本テレビグループ 2010経営方針

当社グループは、激変する経済環境において、2008年に公表しました2010年を最終年度とする中期経営計画を、基本的考え方を継続しながらも、その数値目標を一旦凍結しました。昨年度は、生き残りをかけた緊急措置が必要であるとして、単年度目標である「2009経営方針」を設定

し、収益体质の強化に全力を挙げました。

今年度は、2011年の地デジ完全移行に向け、あらゆる努力が求められる重要な年と位置づけ、引き続き単年度目標となる、「2010経営方針」を策定しました。

1 昨年の取り組みと成果

世帯視聴率とコアターゲット 視聴率の双方が改善

- 「ノンプライム部門」で2年連続トップ。
- その他の時間帯は2位。すべての時間帯で前年度を上回る数字。
- コアターゲット(13歳～49歳の男女)視聴率の改善。

放送収入のシェアアップ

- 2009年度のスポットシェアを24.2%に改善。(2008年度は23.1%)

コストコントロールの成果

- 番組制作費を中心に費用の削減が進み、利益率が大幅に改善。

放送外収入の拡大

- 映画事業では、「20世紀少年<最終章>ぼくらの旗」「ごくせん THE MOVIE」などが好調で、前年比16.0%の増収。
- 通販事業では、特番が好調の他、売れ筋商品の発掘も成功し、前年比26.3%の増収。



「世界一受けたい授業」
日本PTA全国協議会調査による
「保護者が子供に見せたい番組」
で4年連続トップを獲得!
毎週土曜日 19:56～20:54 放送



「世界の果てまでイッテQ!」
今や日テレの看板番組に成長!
出版等のマルチ展開も好調です。
毎週日曜日 19:58～20:54 放送

2 2010経営方針

放送業界の事業環境は、依然として変化が激しく不透明な状況が続いている。2011年に予定されている地上波テレビ放送の完全デジタル化を控え、当社グループは、強力なコンテンツを創造・提供し、より多くのお客様の満足を得ることが勝ち残りの条件と考えています。

今年度は、昨年度来本格的に取り組んでいるコストコントロールの強化による収益体質の改善をさらに進めながら、地上波放送事業において視聴率トップの座を奪還することに全力を注ぐ方針です。

3 新方針のポイント

- コアターゲット視聴率をアップさせ、世帯視聴率でトップを奪還。
- 収益の拡大と新たな収益源の開発。
- あらゆるコストコントロールの継続。
- グループ各社の個性を活かし、グループ全体の利益を拡大。



2011年に公開予定の新作劇場映画「GANTZ」



© 2011「GANTZ」FILM PARTNERS

今年4月改編の目玉としてスタートした新番組・公開予定の映画



「PON!」
毎週月～金曜日 10:25～11:30 放送



「DON!」
毎週月～金曜日 11:55～13:55 放送



「不可思議探偵団」
毎週月曜日 19:00～19:56 放送



「密室謎解きバラエティー
脱出ゲームDERO!」
毎週水曜日 19:00～19:56 放送

4 財務・配当政策

- 重要な経営指標は、「売上高経常利益率」とします。
- 配当につきましては、通期の一株当たり配当金は180円を下限とし、今後も自己株式取得なども含め、還元水準の向上に努めます。

当社グループでは、「2010経営方針」の着実な実行を目指して、全役員・社員が一丸となって努力いたします。株主の皆様にも、より一層のご支援・ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。なお、「2010経営方針」のプレスリリースおよび決算説明会における配布資料などは当社HPに掲載しております。下記URLをご参照下さい。

<http://www.ntv.co.jp/ir/index.html>

事業報告

番組 | ノンプライム2年連続トップ!「タイムテーブルの構造改革」が着実に進展!

平均視聴率は、全日、プライム、ゴールデン、ノンプライム全てのゾーンで前年度を上回る成果をあげました。月曜日に展開するバラエティー番組群が強固さを増しています。加えて全日帯のベルト番組が着実に若手視聴層の取り込みを進めたため、全ゾーンにわたって視聴率・コアターゲット(13歳~49歳の男女)ともに上昇基調を維持し、一層の底上げに成功しました。平成18年にスタートした「タイムテーブルの構造改革」が着実に進展している証拠です。

個別の番組では、月曜日の「しゃべくり007」と日曜日の「世界の果てまでイッテQ!」が日テレの新たなフ

ラッグシップ的バラエティー番組に成長したほか、特番期には「世界1のSHOWタイム」といったビッグスケールの新作バラエティーや、松本清張作品などのじっくり作りこんだドラマスペシャルを連続投入した結果、2月・3月は2か月連続でプライム帯トップを獲得しました。このほかバンクーバー・オリンピック関連特番では、視聴者ニーズに沿った編成と質の高い内容で平均視聴率民放トップの実績を残しました。

恒例の「24時間テレビ」「箱根駅伝」は、他の追随を許さない日テレ独自のコンテンツとして不動の地位を確立しています。



「世界1のSHOWタイム」 2月1日(月) 21:00~23:18 放送



「しゃべくり007」 毎週月曜日 22:00~22:54 放送



「霧の旗」
3月16日(火) 21:00~23:18 放送



「第86回東京箱根間大学駅伝競争」
1月2日・3日 放送



「ズームイン!!サタデー!」で実施した
生コマーシャル

報道 | 批判だけでなく前向きな提言も発信!

報道では「Oha!4」「NEWS ZERO」が好調。「ZERO」は働く20代から40代をターゲットに、「批判だけでなく前向きな提言も発信」をコンセプトにニュース番組作りを進め、平均視聴率は8.9%（月～木）で、同時間帯トップを快走しています。

8月の総選挙では開票特別番組を放送。「24時間テレビ」内に出口調査結果をいち早くお伝えし、「民主党圧勝」「自民党惨敗」「政権交代確実」の速報を隨時挿入、番組間のスムーズな連携を実現しました（民放選挙特番歴代最高視聴率26.4%も記録）。

当社では、政権交代後の政治の動きと日本の将来について、様々な視点から総力を挙げて報道し、単なる批判にとどまらず、積極的な政策提言も隨時行なっていきます。



「NEWS ZERO」
月～木曜日 22:54～23:58、金曜日 22:58～24:58 放送



「Oha4! NEWS LIVE」 月～金曜日 朝04:00～05:20 放送

デジタルコンテンツ | クロスメディア広告とニュース配信で他局を圧倒

「第2日本テレビ」は、テレビ局ならではのノウハウを生かしながら「新型クロスメディア広告」を独自開発。インターネットでの「電波少年」復活などの企画も大好評で、その結果、第4四半期に黒字化を達成するなど、成果を収めました。

また、デジタル技術の進化により様々な場所での動画視聴環境が拡大しています。当社ではニュース専門チャンネル「日テレNEWS24」の素材を活用し、駅の構内や電車内モニターといったデジタルサイネージ、ゲーム機など、携帯電話やインターネット上の各サイトを越えてあらゆる場所にコンテンツを配信しました。



ますます目が離せない「第2日本テレビ」 <http://www.dai2ntv.jp/>

コンテンツ・イベント事業 | 新時代のビジネスモデルを次々に構築!

イベント事業は「ルーヴル美術館展」をはじめ、スタジオジブリ企画制作協力の「メアリー・ブレア展」「男鹿和雄展」巡回展が大成功。演劇公演では、明石家さんま主演「フルシャワの鼻」、EXILE真木大輔主演「クローサー」などが満員盛況でした。

有料放送衛星事業は「日テレNEWS24」や「日テレG+」「日テレプラス」の配信数も増加、CSへの番組販売も前年度に比べ2倍に増えました。

通販事業は、売上で100億円を突破し、キー局TV通販の売上No.1を達成しました。「PON!PON!ポシュレ」が好調。特番はネット局でも放送されました。映画「エヴァンゲリヲン新劇場版 破」とのタイアップでは、映画・地上波・データ放送・WEBを駆使し、新時代の通販ビジネスモデルを構築しました。

ライツ事業は「それいけ!アンパンマン」「ルパン三世」の商品化権売上が好調。海外販売では「マネーの虎」「仮装大賞」など番組フォーマットセールスが拡大しています。

コンテンツファンド事業は、NTTドコモと設立したコンテンツ投資組合「D.N. ドリームパートナーズ」を運営。すでに800本のアニメ・ドラマ・バラエティ番組を、DVD・商品化・配信などあらゆるメディアで展開しています。今後はテレビ番組だけでなくスマートフォン市場に向けて積極的にコンテンツを提供します。



「PON!PON! ポシュレ」 毎週月曜日 11:15~11:25頃 放送
「お中元特番」「お歳暮特番」など7回にわたって通販特番に。



© Sony Pictures Television / Craig Sjodin

「マネーの虎」のアメリカ版 SHARK TANK

日テレがひとつになった大イベント



昨年の「ecoキャンペーン」は、「Touch! Eco」を合言葉に34のレギュラー番組と3つの特番が参加し、汐留でのイベントも大盛況。環境破壊の危機をあおるのではなく、日々の暮らしの中で、一人一人が素朴に感じるecoな心や実践しているecoなことを、数多く紹介しました。

「ズームイン!!SUPER」の「ニッポンおそうじプロジェクト」の一環で行われたゴミ収集。西尾由佳理アナも参加。

今年は… 日本テレビ・ネットワーク各社 環境キャンペーン2010
つなげよう、ecoハート。MAKE THE FUTURE
5月30日~6月6日・10月(予定) NHKとの共同開催

技術・IT・ネットワーク | 完全デジタル化まであと1年!!

平成21年度、当社は地上デジタル中継局とミニサテライト局を計37局開局しました(累計で97局、関東における世帯カバー率99.3%)。今後もデジタル放送をより楽しんでいただくために、HD番組制作のための新技術開発や、地デジ普及のための技術開発、ビジネスにおいても放送と通信を連携させる技術を調査・研究していきます。

NNSネットワーク30局は「冬季バンクーバーオリンピック」や「グラチャンバレー」などの大型スポーツ大会の全国放送を成功に導いたほか、「24時間テレビ」や「エコウィーク」などの大型イベントでも地域の活性化や環境保護に大きく貢献しました。ネットワーク各

局等への今期の国内番組販売総額は、100億円を越える見通しです。



バンクーバー五輪番組で使用された美術セット

BS・CS・日テレ7 | おいしい! 楽しい! がいっぱい!!

視聴者が増加するBS日テレは、紀行番組・海外ドラマを軸に、新たなジャンルの番組を発信。要望の多い巨人戦も52試合放送し、ゴルフトーナメント土日決勝ラウンドの生放送も好評でした。

日テレ系CS放送チャンネル「日テレプラス」では、懐かしい名作ドラマやアニメに加え、地上波ゴールデンの特番「THE料理王」のCS版「THE 料理王・予

選完全版」を放送するなど、本格的な日テレ地上波との同時展開もスタートしました。

日テレ7は著名人を起用したオリジナル企画開発商品が好調。セブン-イレブンとの共同開発商品「関根式カレー」は、日テレ7が番組制作を行う「買物大スキ!女神のマルシェ」と連動したことも寄与し、総販売数が2,000万食を超えました。



料理という視点を加えた
「スペシャリテ紀行 皿の上の物語」(BS日テレ)



「THE 料理王」より(CS日テレ)



的場 浩司さんプロデュースの
チョコレートスイーツ(日テレ7)

営業の概況

当連結会計年度における当社グループの連結売上高は、主たる事業であるテレビ放送事業が広告市況の低迷の影響を受けたことなどにより、2,969億3千3百万円で、前年度比276億2千9百万円の減収となりました。

セグメント別にみると、テレビ放送事業の売上高は2,259億4千1百万円となり、このうちタイムセールスは、広告市況の低迷に加え、前年の「北京オリンピック」のような大型単発番組の反動減などにより1,128億4千万円、スポットセールスは、スポット広告費の地区投下量が前年を下回る中、在京5局間での売上シェアを伸ばし、925億8千5百万円となりました。

文化事業の売上高は、映画事業、通信販売事業が前年度を上回る実績をあげたものの、音楽・映像ソフト事業において、市場規模の縮小傾向に歯止めがかかるず、連結子会社である(株)バップの収入が大幅に減少したことなどから、662億9千3百万円となりました。

その他の事業の売上高は、プロサッカーチームの運営を行う(株)日本テレビフットボールクラブの株式譲渡により、同社が下期以降連結の範囲から除外されたことなどから、129億9千3百万円となりました。

一方、費用の面では、番組改編に伴い番組制作費の削減に取り組んできたことや、その他全ての費用項目において業務改善による圧縮を行ったことなどにより、営業費用は2,733億7千万円で、前年度比389億7千7百万円の減少となりました。

この結果、営業利益は235億6千2百万円で、前年度比113億4千8百万円の増益となりました。

営業外収支は、受取配当金の減少などにより前年度に比べて悪化しましたが、経常利益は271億8千4百万円で、前年度比109億5千8百万円の増益、当期純利益は165億9千5百万円で、前年度比109億7千3百万円の増益となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

単位：百万円

科目	期別	
	当期末 平成22年3月31日現在	前期末 平成21年3月31日現在
〔資産の部〕		
流動資産	140,770	183,132
固定資産	373,018	315,324
有形固定資産	201,025	184,091
無形固定資産	2,593	2,576
投資その他の資産	169,398	128,656
資産合計	513,788	498,457
〔負債の部〕		
流動負債	65,473	68,226
固定負債	31,948	29,813
負債合計	97,421	98,040
〔純資産の部〕		
株主資本	408,939	397,199
評価・換算差額等	△ 998	△ 5,788
少数株主持分	8,424	9,006
純資産合計	416,366	400,417
負債純資産合計	513,788	498,457

連結損益計算書

単位：百万円

科目	期別	
	当期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	前期 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高	296,933	324,563
売上原価	207,597	240,046
売上総利益	89,335	84,516
販売費及び一般管理費	65,772	72,302
営業利益	23,562	12,214
営業外収益	4,197	4,439
営業外費用	576	428
経常利益	27,184	16,225
特別利益	6	5
特別損失	1,822	2,024
税金等調整前当期純利益	25,368	14,207
法人税、住民税及び事業税	7,298	2,012
法人税等調整額	1,818	6,302
少数株主利益(△:損失)	△ 344	269
当期純利益	16,595	5,622

連結財務諸表

連結株主資本等変動計算書 当連結会年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

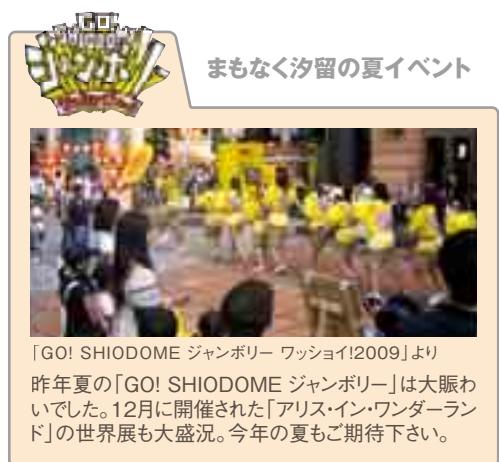
単位：百万円

	株主資本					評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計			
平成21年3月31日残高	18,575	17,928	370,665	△ 9,969	397,199	△ 5,788	9,006	400,417
連結会計年度中の変動額								
剰余金の配当			△ 4,474		△ 4,474			△ 4,474
当期純利益			16,595		16,595			16,595
自己株式の取得等				△ 2,044	△ 2,044			△ 2,044
持分法の適用範囲の変動			1,703	△ 39	1,663			1,663
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						4,790	△ 581	4,208
連結会計年度中の変動額合計	—	—	13,823	△ 2,083	11,740	4,790	△ 581	15,949
平成22年3月31日残高	18,575	17,928	384,489	△ 12,053	408,939	△ 998	8,424	416,366

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	期別	当期	前期
	自 平成 21年4月 1日 至 平成 22年3月31日	自 平成 20年4月 1日 至 平成 21年3月31日	
営業活動によるキャッシュ・フロー	40,130	23,948	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 46,846	△ 28,330	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,697	△ 4,803	
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 47	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 12,411	△ 9,233	
現金及び現金同等物の期首残高	57,629	66,863	
現金及び現金同等物の期末残高	45,218	57,629	



単体財務諸表

貸借対照表

単位：百万円

科目	期別	
	当期末 平成22年3月31日現在	前期末 平成21年3月31日現在
「資産の部」		
流動資産	124,305	158,996
固定資産	349,474	294,116
有形固定資産	198,452	180,947
無形固定資産	2,056	2,060
投資その他の資産	148,965	111,108
資産合計	473,779	453,112
「負債の部」		
流動負債	97,567	91,441
固定負債	28,875	26,412
負債合計	126,443	117,853
「純資産の部」		
株主資本	347,022	339,056
評価・換算差額等	313	△ 3,796
純資産合計	347,336	335,259
負債純資産合計	473,779	453,112

損益計算書

単位：百万円

科目	期別	
	当期 自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日	前期 自 平成20年4月1日 至 平成21年3月31日
売上高	261,060	277,759
売上原価	182,166	207,947
売上総利益	78,893	69,811
販売費及び一般管理費	56,683	61,421
営業利益	22,210	8,389
営業外収益	3,767	3,975
営業外費用	862	615
経常利益	25,116	11,749
特別利益	5	5
特別損失	2,006	1,846
税引前当期純利益	23,115	9,908
法人税・住民税及び事業税	5,767	17
法人税等調整額	2,904	6,646
当期純利益	14,443	3,245

株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)

単位：百万円

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計		
平成21年3月31日残高	18,575	17,928	312,104	△ 9,552	339,056	△ 3,796	335,259
事業年度中の変動額							
剩余金の配当			△ 4,474		△ 4,474		△ 4,474
当期純利益			14,443		14,443		14,443
自己株式の取得				△ 2,001	△ 2,001		△ 2,001
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)						4,109	4,109
事業年度中の変動額合計			9,968	△ 2,001	7,966	4,109	12,076
平成22年3月31日残高	18,575	17,928	322,072	△ 11,554	347,022	313	347,336

会社情報 (平成22年3月31日現在)

会社の現況

商 号 日本テレビ放送網株式会社
 設 立 1952(昭和27)年10月28日
 資 本 金 185億7,599万7,144円
 主な事業内容 放送法による一般放送事業、
 及びその他放送事業
 放送番組の企画、製作及び販売
 文化事業その他放送に関連する一切の事業
 主な営業所 本社 東京都港区
 関西支社 大阪市北区
 名古屋支局 名古屋市中区

発行可能株式総数 100,000,000株
 発行済株式総数 24,766,010株 (自己株式598,538株を除く)
 当期末株主数 42,769名
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1 株式会社読売新聞グループ本社	3,764	15.2
2 読賣テレビ放送株式会社	1,574	6.3
3 株式会社読売新聞東京本社	1,363	5.5
4 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,321	5.3
5 シービーニューヨークオービスファンズ	1,066	4.3
6 学校法人帝京大学	897	3.6
7 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	795	3.2
8 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ	760	3.0
9 シービーニューヨーク オービス エスアイシーアーヴィー	698	2.8
10 株式会社リクルート	645	2.6

取締役・監査役 (平成22年6月29日現在)

代表取締役会長	氏家 齊一郎	取締役	正力 亨
代表取締役社長執行役員	細川 知正	取締役	渡邊 恒雄
取締役副社長執行役員	舛方 勝宏	取締役	山口 信夫
取締役専務執行役員	田村 信一	取締役	前田 宏
取締役常務執行役員	三浦 姫	取締役	堤 清二
取締役		取締役	今井 敬
取締役		取締役	坪田 清則
取締役	渡辺 弘	常勤監査役	漆戸 靖治
取締役	小林 裕孝	監査役	土井 共成
取締役	能勢 康弘	監査役	加瀬 兼司
取締役	大久保 好男	監査役	内山 齊



来年7月 地デジ化完了

平成23年7月24日までに、地上及びBSのアナログ放送が終了し、デジタル放送へ完全移行します。これまでのアナログ放送用テレビだけでは、視聴できなくなります。完全移行まで残り1年、地デジ化への取り組みは大詰めを迎えています



十間橋から見たスカイツリー

地上デジタル技術最前線「デジ助」開発!



見た目は地味だが、性能は抜群!

地上デジタル放送を広い範囲で視聴できるようにするには、電波を再送信する中継局が必要になります。様々な電波が飛び込んでくる中継局に設置される「デジ助」は、いわゆる認証機能により不要かつ悪質な電波を排除し、安全確実な放送を可能にした安価な装置で、系列を超えて多くの放送局が導入を始めています。民放連盟賞(技術部門)優秀、他受賞。

東京スカイツリーが日本一の高さになつて早4か月。大使就任当初はまだまだ先だと思っていた地上デジタル放送完全移行まで、ちょうど一年となりました。

巷では早くも3Dテレビが話題となっていますが、地デジ対応テレビの売れ行きは順調な様子で、ほっと一安心です。

現在は、受信環境の改修が一番の課題。そこで、地デジカと日テレダベア、そしてデジばばこと地デジ大使の馬場典子で気合入れ。パリ生まれのダベアはエッフェル塔をモデルにした東京タワーが大好きだそうですが、これからはスカイツリーに頑張ってもらわなくては、と話していました。

地上デジタル推進大使
日テレアナウンサー 馬場典子



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当:毎年3月31日
中間配当:毎年9月30日

株主名簿 東京都港区芝三丁目33番1号
管理人 中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

単元株式数 10株

公告の方法 読売新聞に掲載する。

株式に関する
お手続き

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様が口座を開設されている証券会社等にお申出下さい。
なお、証券会社等に口座がないため「特別口座」が開設されました
た株主様は、「特別口座」の口座管理機関である中央三井信託
銀行株式会社にお申出下さい。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出下さい。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、
租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。
確定申告を行う際は、その添付資料として使用することができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につき
ましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。
確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社に
ご確認をお願いします。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、
本年より配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させて
いただいております。確定申告を行う株主様は、大切に保管下さい。



日本テレビ放送網株式会社

〒105-7444 東京都港区東新橋一丁目6番1号

<http://www.ntv.co.jp>



水なし印刷方式を採用するとともに、
CTP・大豆インクを使用しています。



© 2010 GNDHDDTW

借りぐらしのアリエッティ

待望のスタジオジブリ最新作。
人間に見られてはいけない。それが床下の小人たちの掟だった。

【東宝系全国ロードショー】

2010年7月17日(土)公開

www.karigurashi.jp/index.html



© 2010 GNDHDDTW

借りぐらしのアリエッティ×種田陽平展

「アリエッティ」×「種田陽平」
現実と虚構を融合させる。
映画美術の神様、種田陽平が手掛ける
スタジオジブリと小人たちの世界。

【東京都現代美術館】

2010年7月17日(土)~10月3日(日)

www.ntv.co.jp/karigurashi/